

まんすりー 全旅連情報

全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2-5-5 全国旅館会館4F

TEL 03-3263-4428 / FAX 03-3263-9789

発行日: 令和元年7月1日 定価: 150円 発行人: 清澤正人 印刷: 山陽印刷株式会社

7-8月号 2019

(合併号)

Vol.280



「宿ネット」 <http://www.yadonet.ne.jp/>

- 第97回「全旅連全国大会 in 茨城」開催 ————— 1
- 令和元年度全旅連通常総会開催 / ————— 3
- ハノイ大学のグエン学長が「日本との人材交流」で講演
- 第22回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告 ——— 4

- 中小宿泊施設観光総合対策委員会開催 / ————— 6
- 全旅連と日本水道協会との間で協定を締結
- 全旅連会議開催 / 経営ワンポイントアドバイス ——— 7
- 全旅連協定商社会名簿 ————— 8

第97回「全旅連全国大会in茨城」開催

大会テーマ: 「観光維新」魅力度アップへの挑戦

新たな時代に向けてその真摯な声高らかに
全国業界の総力を結集し所期の目的達成に邁進



あいさつする多田会長と開会の言葉を述べる吉岡大会実行委員長

全旅連は6月5日、茨城県水戸市の水戸プラザホテルで第97回全国大会を開催した。大会テーマは「観光維新」。全国から組合員や、関係者ら約1300人が参集した。

式典では、大会実行委員長で茨城県ホテル旅館生活衛生同業組合の吉岡昭文理事長の「梅花の宴で万葉の歌が詠まれた大宰府(福岡県)から梅を市木とする水戸市へと引き継がれた大会の意志は、新元号に込められた願いのように、我々組合員一人ひとりが明日への希望と共にそれぞれの花を大きく咲かせることができる、そうした組織であることを示し、次の世代へ繋げていくことである」という開会の言葉に続いて、多田計介会長があいさつし、「今、全旅連は宿泊業界を取り巻く大きな潮流をいかにして乗り越えていくかを考え、鋭意努力している」とし、時代の流れに見る国際化への対応として初めて国境をこえて取り組んだ外国人材獲得活動を挙げながら「こうした問題は業界全体として取り組まなくてはならないものであり、心を一つにして力を合わせていきたい」と述べた。

来賓からは、厚生労働大臣代理として竹林経治医業・生活衛生局生活衛生課長、国土交通大臣代理として観光庁・田村寿浩参事官、大井川和彦茨城県知事、自由民主党幹事長代行の萩生田光一衆議院議員、自由民主党観光産業振興議員連盟会長の細田博之衆議院議員、川津隆茨城県議会議員、ベトナムハノイ大学のグエン・ヴァン・チャオ学長の7氏が祝辞を述べ、また、自由民主党観光連から要請を受け、2月21日開催の全国旅館政治連盟



全国大会式典と来賓祝辞を述べる左から厚生労働省の竹林、観光庁の田村の両氏。大井川知事、萩生田衆議院議員、細田衆議院議員、川津茨城県議員、ベトナムハノイ大学のグエン学長の各氏。懇親会で祝辞を述べる上野良祐参議院議員、高橋靖水戸市長、そして式典で旅政連支部長会議で推薦の承認を得た立候補表明を行った小川氏。下はハノイ大学の日本語教授を伴ってあいさつするグエン氏



茨城県緑化推進機構への緑化推進基金の贈呈

支部長会議で推薦の承認を得た小川しんじ候補が立候補表明を行った。

多田会長から公益社団法人茨城県緑化推進機構に緑化推進基金の贈呈が行われたあと、祝電披露に続いて、旅館業および組合活動に対し、功労・功績のあった組合員等へ感謝を込め、厚生労働省医業・生活衛生局長表彰、全国生活衛生同業組合中央会理事長感謝状、永年勤続表彰が行われた。続いて第22回「人に優しい地域の宿づくり賞」では、昨年12月から全旅連のイメージキャラクターとなっている平昌パラリンピック金メダリストの村岡桃佳選手がプレゼンターとして登場し、各受賞者に対し会場からは大きな拍手が送られた。

大会は、「令和時代への新たな時代に向けてその真摯な声を高らかに訴えるものである」とした大会宣言、「全ての旅行者に安心安全な地域づくりを目指そう!」「外国人労働者を含む人材確保に努め働きやすい職場環境づくりを

賞のプレゼンターと一緒に喜びの受賞者



各賞を代表して受賞する左から竹内順一(茨城県)、池田博昭(岡山県)、土田耕一(福井県)の各氏

「人に優しい」賞表彰



上から厚生労働大臣賞の千葉県組合、全旅連会長賞の鈴の宿政府屋旅館、選考委員会賞の茨城県組合、支部のみなさん



大会宣言と決議を行う関口の北堀瑤玉、森田群馬の両理事長



万歳三唱を行う鈴木(神奈川)、式典を締め切る野澤(新潟)の両理事長



多くの参観者で賑わった65社におよぶ展示会場のブース



上から厚生労働大臣賞の千葉県組合、全旅連会長賞の鈴の宿政府屋旅館、選考委員会賞の茨城県組合、支部のみなさん



上は金メダリストの村岡桃佳さんによるシルパースター部会長賞の滋賀県組合、右は観光経済新聞社社長賞の沖繩県組合

全旅連青年部が50周年記念式典を開催



「新たな50年に向けてさらに大きな責務を担っていききたい」と述べる鈴木理事長



「全旅連青年部50周年記念式典大会宣言」我々全旅連および全国の青年部は、常に「温故創新」の気概を忘れず、責任世代として自覚を持ち、時代に驚く為、夢を語り合い、研鑽を積み重ねるにより、次世代経営者の活躍の場として未来にわたる宿泊業界の発展に資する組織であり続けることを宣言する

青年部の役員(上)と歴代部長

大懇親会は稀勢の里関らの鏡開きで開催



元横綱・稀勢の里関も加わって行われた鏡開き。下は一緒に記念写真を撮る大分、静岡のみなさん



上から多田会長を囲んで岩手県、左と長崎県のみなさん。青年部が「300名必達」とした「部員拡大活動」の横断幕を掲げての登壇

目指そう!」など13項目の決議文の採択、大勢の組合員が登場して行った次回全国大会開催地の山口県組合の「おいでませ山口へ」の呼びかけへと続き、最後には本大会の盛会を祝して万歳三唱で締めくくった。

今大会のテーマである「観光、維(こ)れ新(あらた)なり」を意味する「観光維新」は、われわれ業界人全ての魅力度アップへの挑戦でもある。第97回全旅連全国大会は、観光新時代を拓く観光戦略推進に向けた取組みの大切さを心に留めた大会となった。

全国大会では全旅連青年部創立50周年記念式典も行われた。また大懇親会は茨城県出身の元横綱稀勢の里関らによる鏡開きで盛大に開催された。

令和元年度・通常総会を開催 多田会長2期目の新副会長含む新体制を承認

新たに中小宿泊施設観光対策委を設置 インバウンドを視野に経営基盤の強化を進める



外国人労働者の受入れ推進を強調する多田会長

全旅連は6月4日、茨城県大洗町の大洗ホテルで令和元年度の理事会と通常総会を開催した。任期満了に伴う役員改選では多田会長2期目の新体制を承認した。また、新たにブロック会長になった渡邊幸一（愛知県）、坂口邦嗣（和歌山県）、宮川力（山口県）、田中隆一郎（佐賀県）の4氏が副会長に就任した。



上から大洗町大会に出席する副会長に就任した
上から茨城県、山口県、
宮川力、田中隆一郎、
坂口邦嗣、渡邊幸一、
副会長に就任した
多田 新



平成24年から通常総会出席し、平成25年からは副会長に就任した
同業組合全国連合会
の徐銀樹名管理事務

令和元年度の事業計画では、「宿泊業外国人労働者雇用促進協議会との連携および幅広い法制度への対応と外国人材受け入れの環境整備」、「一般社団法人宿泊業技能試験センターとの連携と協調」のほか「働き方改革に伴う法改正（労働基準法等）の研究と対応」、そして「国際観光旅客税使途の一部を違法民泊施設追放に掛かる費用に助成」などが新項目として加わった。違法民泊については、住宅宿泊事業法の施行から1年近くとなったが、一般紙も「民泊法1年 消えぬヤミ」として大きく報じ、違法民泊施設への対応は引き続き強く迫られている。

また、令和元年度は5つの専門委員会を設置していく。新たに設けられた「中小宿泊施設観光総合対策委員会」では、部屋数50室未満の中小規模の宿泊施設に関するインバウンド客の集客についての方策を様々な観点から整理し、観光庁観光産業課長を委員会の委員に迎えながら、中小の宿泊施設の経営基盤の強化の指針づくりを行っていく。

令和元年度全国大会（茨城県）で行われる緑化推進基金の贈呈（贈呈先：公益社団法人茨城県緑化推進機構）に続いて、令和2年度全国大会開催地の山口県を承認。6月11日、下関市生涯学習プラザで式典、山口県国際総合センター（海峡メッセ下関）で

ハノイ大学のグエン学長が「日本との人材交流」で講演 「全旅連とはいい交流ができる」と期待する学長



ベトナム国のハノイ大学から学長ら4氏が来日して行われた講演

総会後には、全旅連が昨年10月19日に外国人材受入れに向けベトナム国のハノイ大学と包括連携協定を結んでいることから、同大学のグエン学長による「日本との人材交流」をテーマとした講演が行われ、同じく国際部長のグエン・ゴック・タン、日本語学科教授のファム・トゥー・フォン、経理部長のファム・ティ・タイの3氏も同席した。

グエン学長は、ハノイ大学は、13言語におよぶ外国語教育が中心だが、日本語学部と観光学部を有するとし、「日本語のみならず、日本のマナーやホスピタリティ、観光やホテルのマネジメントを学習している。また、そうした学生が日本で就職できればいいと思っており、全旅連とはいい協力関係を持つことができると確信している。これからも情報の発信に努めていき、いろいろな事業が展開できることを期待している」と語った。

また、インターシップ活動についても触れ「当校の学生2名がここ大洗ホテルで6カ月間の勉強を経てこの5月24日に帰国したが、共に日本の宿泊業界のすばらしさを語っていた」と述べ、学長自らも日本には大きな信頼を寄せていた。講演では質疑応答の時間も設けられ、「ベトナム人材を受入れた際の旅館ホテルが配慮すべき点」など具体的な取り組みについての意見交換も行われた。

懇親会を開催する。源平の合戦から幕末維新の動乱まで数々の歴史が動いた山口県では、大会テーマを「本州最西端。熱き『劇場のくに』へ。」とした。

さらに旅政連の緊急動議として、7月に予想される参議院選挙で、自民党全国比例区で出馬する小川しんじ氏（日本衛生検査所協会理事）を、旅政連の組織内候補者として支援していくことを決議した。

通常総会終了後には、全国旅館ホテル事業協同組合第19回通常総代会が行われ、平成30年度事業報告並びに決算関係書類承認、監査報告、令和元年度事業計画案並びに収支予算案など全ての議案が承認後、役員改選が行われ、理事会にて多田計介氏（全旅連会長）が代表理事に再任となった。



第22回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

厚生労働大臣賞：千葉県旅館ホテル生活衛生同業組合

視察対象事業：宿のバリア情報の積極的な公開が、「集客拡大」に繋がっていく。

「バリアフリーは福祉ではなくビジネスだ」。開口一番、武川事務局長は力強く、そう伝えてくれた。「車いすユーザーが旅館を選ばないとしたら、ユニバーサルデザインではないからではなく、情報が少なく、電話をしても曖昧な返事しかもらえずにあきらめる」ことが理由だ。そのため、規格が定まったチェーンホテルを選んでしまうという。しかし、個性も様式も一軒毎に違う情報をそれぞれの宿が発信していくのは難しい。そこで、こうした情報の整備こそ組合の役割だと思ったのが、ホームページ「ちばのハートフルな宿」が開設されたきっかけだ。

情報発信に至るまでは、記録・測定・撮影を分担する事務局の3人に加えて、車いすに乗り実際に検証する専門スタッフにも同行してもらい、チームで丸一日の時間をかけて宿を取材する。取材依頼を申し出た際、経営者から「うちはバリアフリーではない」と言われることも度々あるそうだが、「旅館で完全なバリアフリーはあり得ない。現状を公開し、理解して選んでいただくことが大切」と経営者の意識を変えることからスタートする。

「やってみようかな」。そう思った多くの経営者の勇気が厚生労働大臣賞に結びついた。

取材は、3日前に事前準備用の質問リストを送ることから始まる。当日、チェックアウトが終わった10:30に取材チームが宿に到着。打合せ後、実際にお客様が到着する駐車場から館内まで、お過ごしになる動線をくまなく実査する。例えば、段差が1cmもあれば自力で越えるのが厳しい。細かな段差も見逃さず、通路の幅、手を置く位置や高さなどを車いすに乗って実際に測定していく。そうした取材の状況も撮影し、ホームページに掲載する。ただし、明らかに広く問題のない場所や車いすユーザーは使わないであろう一般トイレは写真のみで済みます。もちろん、多目的トイレは詳細に計測するが、全て時間をかけていたらとても一日で終わらないからだ。

取材は、ロビーや共用部、客室、レストラン、大浴場等の施設の計測や実査はもと



ヒアリングを行う井門選考委員(右)



◀千葉県組合職員の皆さん
(左から武川局長、松浦さん、金丸さん)

より、旅館スタッフによる人的サポートがどこまで可能かどうかもしっかりとインタビューで確認していく。ちなみに、大浴場は段差の有無や湯の深さまで測定され、写真だけではなく断面図でも示され、こうした情報は車いすユーザーではなくとも興味深い。

バリアフリーの受け取り方は人によって違う。そのため、取材では「バリアの有無」を調査することになっている。その後、判断するのはお客様だ。情報が少ないことによる機会損失や、曖昧なために起こるクレームを回避するためには、詳細かつ正確に調べ、情報を発信することが大切だ。自信をもって障がいをお持ちのお客様をお迎えするようになると、自ずと宿のスタッフも慣れてきて、お身体だけではなく、視覚や聴覚に障害のある方へのもてなしもできるようになってくる。「混雑する時間は無理だが、早めに到着できれば大浴場の貸切対応を申し出てくれた」、「客室のテレビをあらかじめ字幕モードに設定をしてくれた気遣いがうれしかった」。そうした声が組合に数多く寄せられている。

2019(令和元)年、日本で最も人口の多い年齢が70歳になる。「あと10年もすると身体が不自由になるお客様が増えてくるので、できるだけ早く情報を整備したい」と、事務局長は理事会を待たずに作業を進めた。おそらく、首都圏のお客様は遠出が難しくなり、近場の旅行が増えてくるだろう。そうした潜在ニーズを読み取る先見の明が、この事業に結びついている。

たしかに、これから10年間、日本で増えるのは75歳以上のみだ。その間、2024(令和5)年に、日本の最多人口年齢はいったん51歳まで下がるが、その後、その年代が75歳になってから少なくとも21世紀の間じゅう、最多人口年齢は75～79歳から動かない「超高齢化時代」に突入する。超高齢社会に備え、バリア情報の整備は全国において待ったなしだ。



施設情報の計測のようす
(取材協力:旅館かわな)



視察日：令和元年5月22日(水)
視察者：選考委員 井門隆夫(株式会社井門観光研究所 代表取締役)



第22回「人に優しい地域の宿づくり賞」視察報告

全旅連会長賞：鈴の宿 登府屋旅館（山形県米沢市小野川温泉）

視察対象事業：脱ノーマライゼーション！ みんなで作る楽しめるバリアフリー

「鈴の宿 登府屋旅館」は、JR米沢駅より車で約20分、米沢市郊外にある834年に開湯された小野川温泉街のほぼ中央に位置する。小野小町が旅の途中、病に倒れ同所の温泉で病を治し、絶世の麗人に生まれ変わったとの伝説が地名の由来と云われている。昔からある80.3℃の源泉に加え、2008年に35.6℃の源泉が掘られ、14軒の宿と2か所の共同浴場が夫々独自にブレンドし、全ての施設で源泉かけ流しを可能とする湯量豊富で飲泉もある歴史ある温泉地である。

同館は明治41年創業、現社長で7代目。総部屋数14の内、バリアフリー室3部屋（特別室：1、TW：2）。駐車場から客室内のみならず貸切り風呂内まで全館車いすで移動可能である。同社の目指すバリアフリーとは、単なる物理的バリアフリーではなく、健常者と障がいを持たれた方が一緒に楽しむ「脱ノーマライゼーション」であり、家族や気心知れた友人と伴に非日常を楽しめる宿づくりを目指す。

専用の車いすで貸切り風呂の浴室まで行くことを可能とし、車いすのまま使用できるシャワードバス（全身シャワー）を設置している。また、脱衣場には寝た状況での脱衣を可能とするベッド大の広い脱衣台（30cm高）が設置され、足の悪い方が脱衣台に腰かけた状態で、脱着可能な手すり等を活用するなど、自力で体を支えながら浴室へ、さらにスロープを使い浴槽への横移動を可能とする。浴室のみならず、館内随所に車いすの方が自立した宿泊が出来るよう細かな配慮がなされている。

背景には、設計から専門家（車いす利用者）に参画頂き、利用者の目線で細部に至るまでアドバイスを得たことにある。また、山形新聞社の「クラウドファンディング」

を利用したこともプラスに作用した。バリアフリー化への総投資額からすると支援額は117万円（77名より）と、金額は多くないが、当館の取組みが広く知られるようになり、その後、補助金を得る際にもプラスに作用したようだ。現在では市内の介護ヘルパーとも連携し、身体介助を希望する宿泊客へも対応している。

バリアフリー化への総投資額から、当初（2014年）は大きな不安を抱えての船出ではあったが、車いすの利用者が徐々に増え、潜在需要の大きさを実感できるようになった。現在では大浴場や1階のトイレもバリアフリー化し、宿泊外の観光客にも開放している。バリアフリー化から約5年で車いすの宿泊者は500名超、その同伴者を含めると1500名近い客が当館を訪れた。

加えて、子連れの家族客と足腰の弱った高齢者（車いす不使用）を同伴する家族客の来訪も増え、万人が分け隔てなく楽しめる宿として認知されつつある。視察時は平日にもかかわらず、杖が離せない高齢者を連れた家族客と高校時代の仲間との温泉旅行を楽しむ初老のグループ客が宿泊し、同館が目指す脱ノーマライゼーションを楽しむ宿泊客を見る事が出来た。

宴会場にて定期的実施する「寄席どうふ」と称するプロの落語家を招く落語会と、「3軒長屋」等の落語の題目を客室名にするなど、落語を活用し老若男女が楽しめる宿の演出にも余念がない。今後の課題として、視覚障がい者やピンクリボン対応等、他の障がいやニーズを持つ方にも地域の施設と連携し役割分担することで、更なる「みんなで作る楽しめるバリアフリー」を達成したいと熱く夢を語った。「みんなで作る楽しめるバリアフリー」のモデルケースとして今後の拡散を期待したい。



駐車場から玄関まで車いすで移動できるスロープ



平塚選考委員（左）、ロビーにてヒアリング



バリアフリールームは入口から部屋・トイレ等全てフラットで車いすに対応



車いすに配慮したバリアフリー貸切り風呂



視察日：令和元年5月29日（水）
視察者：選考委員 平塚良成
（特定非営利活動法人医療事業再生機構理事長）



代表取締役 遠藤直人 氏

中小宿泊施設観光総合対策委員会開催



委員会の様子

中小宿泊施設観光総合対策委員会(井上善博委員長)は、6月11日今年度1回目の委員会を開催した。同委員会は、担当部会長に大木副会長、副部会長に西海、松村の2名の副会長、委員長に井上氏(福岡県)、委員は、観光庁観光産業課の鈴木課長、全旅連では、小井戸(福島県)、稲池(長野県)、曾根(新潟県)前川(滋賀県)、藤原(福井県)、宮村(高知県)の6氏と、青年部より鈴木(青年部長)、田辺(副部長)の2氏、楽天株式会社より永富ジェネラルマネージャー、楽天LIFULL STAY株式会社より太田CEO。委員会のアドバイザーには、竹村氏(関東学園大学教授・全旅連アドバイザー)といった委員会構成となっている。当日は多田会長、観光庁鈴木課長の代理で坂野統括課長補佐も出席した。

委員会活動の趣旨は、50室未満の小規模、中規模施設を対象として、インバウンドの取り込みについて現状機能していない施設、また地域が抱える課題の整理を行い、改善施策、活性化策について全旅連の枠組みを超えて、観光庁、楽天(株)、楽天LIFULL STAY(株)といった広範囲の知恵を結集して立案と提案を行うとしている。今後の活動は、現常認識と課題整理を行うためのアンケートを実施し、課題解決のための検証を行っていくとしている。

省庁便り

厚生労働省

生活衛生関係営業の生産性向上を図るためのガイドライン・マニュアル作成事業

生活衛生関係営業の生産性向上を図るためのマニュアル(ガイドライン・マニュアル【基礎編・業種別編】)が下記厚生労働省ホームページで閲覧できます。ホームページへアクセスのうえ、ご利用ください。

厚生労働省HP

生活衛生関係営業の生産性向上を図るためのガイドライン・マニュアル

URL:https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou/seikatsu-eisei33/index_00002.html

全旅連と日本水道協会との間で協定を締結

災害発生時に宿泊可能施設の情報を提供
円滑な応急給水や応急復旧活動に寄与



「災害時における宿泊施設の情報提供に関する協定」の締結で調印のあと全旅連会議室で行われた記者発表で、協定について報告する多田会長と日本水道協会の吉田理事長



全旅連は6月17日、全旅連会長室において公益社団法人日本水道協会との間で「災害時における宿泊施設の情報提供に関する協定」の締結式を行った。

これは地震、風水害、その他の災害の発生時において、飲用水供給並びに水道施設の復旧などの円滑な応援活動を図るため、旅館・ホテル等の宿泊施設の営業状況の情報提供に関する協定を締結し、協力体制を築くというもの。全旅連から多田会長、清澤専務理事、日本水道協会から技術士(上下水道部門)でもある吉田永理事長、大貫三子男総務部長、水道技術総合研究所長を兼務する芦田裕志工務部長が出席し、協定書に調印を行った。

日本水道協会の会員が応急給水または応急復旧活動を実施するにあたり、宿泊場所を必要とする場合、全旅連は都道府県組合と連携し、組合員が所有する宿泊施設の営業状況について、同協会に対して情報提供を行う。

また両者は、あらかじめ円滑な情報提供を行うための連絡体制を整え、災害が発生したときは、別途定める実施細目に基づいて、法令の範囲内で速やかに相互に連絡することになる。

災害時における宿泊可能施設の情報提供のフローは、①協会から宿泊可能施設の情報提供の要請が全旅連に行われると全旅連はブロック長、47都道府県組合から得た組合員施設の営業状況について協会側に回答する。②情報を得た協会は、宿泊施設名簿の情報を復旧作業員・職員など被災地への応援派遣する水道事業体へ送る。③事業体から受入可能な旅館・ホテルへ直接宿泊の申し込みをするという流れとなる。

全旅連は組織力をもって情報の収集に努め、被災地またはその近隣、周辺の県までの宿泊可能施設の情報提供を行っていくとしており、日本水道協会の吉田永理事長は「宿泊場所の確保はこれまで大きな課題となっていた。こうした情報の提供は私たちにとって非常に心強いものとなった」と述べている。

全旅連会議開催

[6月]

4日(火)

- 全旅連事業サービス(株)株主総会
- 全旅連理事会
- 全旅連通常総会
- 全国旅館ホテル事業協同組合第19回通常総代会
於：大洗ホテル(茨城県東茨城郡大洗町)

5日(水)

- 第97回全旅連全国大会 in 茨城
- 全旅連青年部50周年記念式典
於：水戸プラザホテル(茨城県水戸市)

6日(木)

- 全旅連青年部常任理事会 他
於：三の丸ホテル(茨城県水戸市)

11日(火)

- 中小宿泊施設観光総合対策委員会

19日(水)

- 総務会
- 全旅連女性経営者の会(JKK)役員会

28日(金)

- 全旅連シルバースター部会常任委員会
- 令和元年度全旅連シルバースター部会総代会
於：都道府県会館(東京都千代田区)

今後の予定

7月17日(水)

- 第2回全旅連正副会長会議

8月26日(月)

- 全旅連常務理事・理事合同研修会
於：都道府県会館(東京都千代田区)

9月9日(月)、10日(火)、11日(水)

- 第10回スパ&ウエルネス ジャパン2019(全旅連協賛)
主催：UBMジャパン株式会社
於：東京ビッグサイト(東京都江東区)

お知らせ

次号9月号の発行は9月1日となります。

今号は7・8月合併号のため、8月1日の発行はありません。

安心・真心・優しさで選ばれる宿になりませんか

シルバースター登録制度は、急速に進んでいる日本の高齢化社会に対応するため、業界から自主的に起こった制度です。国内の宿泊旅行に限ると、2~3割が高齢者である現在、高齢者の宿泊施設へのニーズが強い事は当然であり、全旅連ではそうしたニーズに十分対応できる旅館・ホテルを数多く整備する事が業界全体の発展につながると考えています。

シルバースター登録制度がスタートし平成5年9月の第一号店誕生から、今では北海道から沖縄まで約800軒の施設が登録を受け、「優しい心」を示すマークを掲げています。

全旅連では、シルバースター登録制度を広く内外への周知を図るとともに、厚生労働省の協力を受けながら推進しています。

ぜひシルバースターにご登録いただき、ハード・ソフト両面の整備と充足にお役立てください。

◎しおりは、各都道府県旅館ホテル生活衛生同業組合までご請求ください。

◎お問い合わせは、全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会まで。



全国旅館ホテル生活衛生同業組合連合会

〒102-0093 東京都千代田区平河町2丁目5番5号 全国旅館会館4階
tel.03-3263-4428 fax.03-3263-9789 URL: <http://www.yadonet.ne.jp/>

経営ワンポイントアドバイス

「まんすりー」経営改善講座

渡邊 清一郎

「幸せになるための五つのレシピ」

最近ものすごく腑に落ちたある人の言葉を紹介します。

1. 期待しない

身内でも身内でなくても、あなたとは違う人間。期待や願望は、あなたの勝手。相手が希望通りになることを期待しない。期待しなければ怒ることもなく、失望や喧嘩も避けられる。

2. 上を向いて笑う

笑う門には福来たるは、事実。陰気くさい人と明るい人、どちらに人は好意を持つのか。イケメンより、面白い人のほうが美人の嫁をもらうのはなぜ。笑いは内面を美しくする。上を向いて大きく息を吸って笑う。

3. 食べて動く

食べて、そのカロリーの分だけ動けば、太るも痩せるもない。足腰が弱ると老後は苦勞。歩くだけでいい。そして、好きなモノを食べてぐっすり寝る。寝不足は鬱や不調の原因。床についてすぐ寝付くためにも、毎日歩く。足腰を鍛えて、よく食べてよく眠る。

4. 好きなことを忘れない

好きなことを持つ。趣味でも、人でも。何かを好きになると、力がわく。人を愛せばぬくもりが生まれる。好きなことを見つけるまで、何度でも何にでもチャレンジする。ひそかな楽しみでも構わない。楽しみがあると、心に余裕が生まれる。

5. 損したと思わない

お金を損した、時間を損した、いろいろな損が世の中には満ちあふれている。しかし、人間は、死ぬまでの暇つぶしに生きているだけ。損も得も、最後は土に帰る。損を気にせず、損した体験をも得だと思えば違う道が見えてくる。生きているだけで幸せ。得することが必ずよいとは限らない。損を徳に思えたら、人生は素晴らしい輝きにあふれる。

質問・相談は

watanabe@yadonet.ne.jp 携帯(090-3322-7208)
または、全旅連事務局(03-3263-4428)までどうぞ。

腸内細菌検査、ノロウイルス検査 旅館・ホテル組合員特別価格のご案内

	腸内細菌検査(検便)	ノロウイルス検査
検査項目・方法	サルモネラ菌、腸チフス菌、パラチフスA菌、赤痢菌、腸管出血性大腸菌O-157	RT-PCR法による遺伝子増幅法検査
報告日数	3~5営業日	1~3営業日
料金	※組合員特別価格 300円/1検体(税別)	※組合員特別価格 検査料金 2,950円/1検体(税別) 検査容器代 50円/1検体(税別)
備考	検体送料は、定期的実施分は弊社で負担いたします。追加実施分は、お客様でご負担願います。	検体送料は、お客様でご負担願います。(宅配便クール冷蔵指定)

検査申込書 全旅連公式HP「宿ネット」組合員専用ページ
ダウンロード <http://www.yadonet.ne.jp/info/member/>

お申込・お問合せ JFE東日本ジーエス株式会社 食品衛生調査センター
TEL:044-328-2788 FAX:044-333-1655
<http://www.eisei-chosa.com/>

全旅連協定商社会名簿

協 賛	(株) トランスネット	ホテル旅館向け各種インターネットソリューション販売	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-3-1 三恵ビル8F 営業企画部 廣重 隆	TEL 03-6891-7200 FAX 03-6686-1039
	ソニー生命保険(株)	生命保険コンサルティング他	〒100-0004 東京都千代田区大手町1-7-2 東京サンケイビル31F 東京中央LPC第3支社部長 中野秀嗣	TEL 03-4334-5203 FAX 03-4334-5213
	あいおいニッセイ同和損害保険(株)	損害保険	〒150-8488 東京都渋谷区恵比寿1-28-1 専業・マーケット開発部 市場開発室 担当次長 橋本博史	TEL 03-5789-6450 FAX 03-5789-6449
	丸八真綿グループ(株) マルハチプロ	丸八真綿寝具販売他	〒321-0982 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町81-7 (株) 東日本丸八真綿 宇都宮支店内営業部 副課長 玉木信安	TEL 028-663-6166 FAX 028-663-6238
	サントリービバレッジソリューション(株)	ソフトドリンクメーカー 清涼飲料用自動販売機の設置	〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-3 赤坂見附MTビル3階 広域法人営業本部 吉原 修	TEL 03-3479-1541 FAX 03-3479-2060
	(株) リクルートライフスタイル	旅行雑誌じゃらん、 じゃらん.net等	〒100-6640 東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントウキョウサウスタワー 旅行営業統括部 営業推進部 営業企画グループ 酒井 宏明	TEL 03-6835-6240 FAX 03-6834-8784
	(株) セラミックテクノロジー	客室木部白木再生、各種 浴場等の各種再生	〒414-0055 静岡県伊東市岡1274-9 松坂博行	TEL 0557-48-6026 FAX 0557-38-6557
	ミサワホーム(株)	旅館ホテル客室等のリフォー ム・新築	〒163-0833 東京都新宿区西新宿2-4-1 新宿NSビル 法人営業部法人営業推進課 全旅連担当顧問 田崎裕治	TEL 03-3349-8044 FAX 03-4570-5668
	(株) 第一興商	カラオケ機器(DAM) 音響・映像関連機器	〒141-8701 東京都品川区北品川5-5-26 営業統括本部 特販営業部 営業2課 エリアマネージャー 関口雅弘	TEL 03-3280-6821 FAX 03-3280-0862
	(株) コジマ	家電製品全般	〒171-0021 東京都豊島区西池袋3-28-13 池袋西口共同ビル8階 営業本部営業部 法人営業室 主任 原 智一	TEL 03-6907-3116 FAX 03-6907-2996
	(株) エクシング	カラオケ機器販売(JOYSOUN D,UGA)音響・映像関連機器	〒105-0011 東京都港区芝公園2-4-1 芝パークビルB館8F 営業本部 直販営業部 担当副部長 近藤美佐雄	TEL 0120-141-224 FAX 03-6848-8186
	東京海上日動火災保険(株)	旅館賠償責任保険	〒104-0061 東京都中央区銀座5-3-16 旅行業営業部 営業第一課 副主任 米永有希	TEL 03-5537-3491 FAX 03-5537-3471
	AIG損害保険(株)	組合員向各種損害保険	〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-20 神谷町MTビル6F 中小企業セグメント営業部 アソシエーション開発推進ユニット 二宮朋基	TEL 03-6848-8834 FAX 03-6689-2025
	楽天(株)	予約サイト楽天トラベル等	〒158-0094 東京都世田谷区玉川1-14-1 楽天クリムゾンハウス トラベル事業 国内営業部 ジェネラルマネージャー 永富文彦	TEL 050-5817-3369 FAX 03-6670-5253
	(株) 宿泊予約経営研究所	web集客コンサルティング	〒220-8120 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-2-1 横浜ランドマ クタワー20F 新規営業本部 営業推進室 統括マネージャー 北園勇人	TEL 045-227-6505 FAX 045-227-6507
	(株) シーナッツ	予約・販売管理システム TL-リンカーン	〒108-0023 東京都港区芝浦3-12-7 住友不動産田町ビル4階 システムソリューション本部 営業G 宮崎恵利香	TEL 03-6835-8420 FAX 03-5476-8898
	(株) JTB(るるぶトラベル)	宿泊予約サイト るるぶトラベル	〒140-8602 東京都品川区東品川2-3-11 JTBビル17階 Web販売部 販売担当部長 須藤 淳	TEL 03-5796-5675 FAX 03-5796-5863
	ヤフー(株)	「Yahoo!トラベル」による 集客支援提案	〒102-8282 東京都千代田区紀尾井町1-3 東京ガーデンテラス紀尾井町 紀尾井タワ 予約統括本部 営業本部 トラベル営業部 森 浩一	TEL 03-6898-3466 FAX 03-6685-0080
	KNT-CTホールディングス(株)	宿泊予約サービ スe宿(いーやど)	〒163-0235 東京都新宿区西新宿2-6-1 新宿住友ビル39F 国内旅行部 岡 哲生	TEL 03-5325-8536 FAX 03-5325-8560
	(株) JTBビジネスインベーターズ	クラウド型業務システム、自社HP予 約決済システム、外貨取扱支援など	〒108-0075 東京都港区港南1-6-31 品川東急ビル7階 営業推進部 田中美月	TEL 03-5796-5649 FAX 03-5796-5690
	(株) ネクシーズ	LED照明、業務用冷蔵庫、空調な どの省エネ素材のレンタル事業	〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町20-4 ネクシーズスクエアビル サービス企画課業務推進係 井場裕紀	TEL 03-6415-1210 FAX 03-3770-2307
	(株) エス・ワイ・エス	自社HP予約エンジン「OPTIMA」 宿泊料金比較サイト連携サービス「DRS」	〒107-0062 東京都港区南青山5-10-2 第2九曜ビル3F 営業部 若島直人	TEL 03-3486-1070 FAX 03-3486-1071
	(株) Ctrip International Travel Japan	中国インバウンド予約サイト 「Ctrip」	〒542-0085 大阪府大阪市中央区心斎橋筋2-4-9 戎橋ビル9階 ホテル事業部 統括部長 有田壮志	TEL 06-6210-2367 FAX 06-6210-2369
	日本テクノ(株)	高圧電気設備保安管理・点検 電気料金削減コンサルタント	〒163-0651 東京都新宿区西新宿1-25-1 新宿センタービル51階 営業推進部 MC・東日本営業課 係長 相川 淳	TEL 03-5909-5389 FAX 03-5909-5379
	(株) パラダイムシフト	オールインワン業務支援ソフト 「レップチェッカー」	〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-3-6 パラダイムシフトビル 営業部 部長 古瀬路里	TEL 03-5825-9970 FAX 03-5825-9971
	(株) アビリブ	WEBサイト制作、自社HP予 約エンジン「予約プロプラス」	〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-35-3 コープオリンピア7F 常務取締役 WEB事業統括本部 本部長 水野真寿	TEL 03-6712-6018 FAX 03-6712-6019
住友林業(株)	旅館・ホテルリフォーム 新築、造園	100-8270 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館 住宅・建築事業本部 市場開発部 副部長 藤山裕之	TEL 03-3214-3860 FAX 03-3214-3861	
(株) ミツウロコヴェッセル	高圧電気、動力(低圧)電 気、従量電灯電気の販売	〒104-0031 東京都中央区京橋3-1-1 東京スクエアガーデン 電力マーケティング部 担当課長 石井万正	TEL 03-3275-6316 FAX 03-3275-6354	
(株) かんざし	OTAプラン作成一括管理「かんざしクラウド」 OTA「ちこみ一括管理」「ちこみクラウド」	〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-6 丸元ビル 3F セールス本部 宿泊セールスチーム チーフマネージャー 神山真一郎	TEL 03-6261-7447 FAX 03-6261-7448	
(株) 三洋	寝具(掛け布団・マットレス) のレンタル	〒150-0021 東京都渋谷区恵比寿西2-8-10 ORIX恵比寿西ビル3F コンフォートグリーン事業部 営業主任 山本宜央	TEL 03-5459-2330 FAX 03-5459-2340	
(株) ショウエイ	浴場用ろ過装置の省エネシ ステムおよび見える化	〒212-0032 神奈川県川崎市幸区新川崎2-6 営業1課 課長 長谷川秀法	TEL 044-589-1601 FAX 044-589-1602	
大建工業(株)	機械すきと紙材の量	〒101-8950 東京都千代田区外神田3-12-8 住友不動産秋葉原ビル 市場開発部 澤田幸伸	TEL 03-6271-7600 FAX 03-5296-4041	
推 奨	三菱電機ビルテクノサービス(株)	エレベータ設備・管理	〒116-0002 東京都荒川区荒川7-19-1 首都圏第一支社 業務部 副部長 倉場和紀	TEL 03-3803-7319 FAX 03-3803-5234
	(株) フジ医療器	マッサージチェア	〒108-0023 東京都港区芝浦3-2-16 田町イーストビル1F 商経営業部 企業担当ユニット 鈴木哲治	TEL 03-3769-6600 FAX 03-3769-6601